

3-2 緑の課題整理

前項での解析評価を踏まえ、各系統別の緑の課題を整理します。

(1) 各系統にみる課題

① 環境保全系統にみる課題

- ・ 桑名市の自然を代表する多度山や木曾三川は、三重県立自然公園条例等の法規制により保全されていますが、良好な自然環境の維持増進を図るためにはより一層の保全及び維持管理が必要です。
- ・ 市街地の樹林地のなかには、森林法などによる法制度で担保がなされていないものもあり、市街地の貴重な自然の緑を保全するための規制等の方策が必要です。
- ・ 豊かな自然環境を保全しつつ、人と自然との係わりを構築しながら新たな緑を創出することが必要です。
- ・ 新たな緑の創出においては、地域性や景観などを考慮した樹種選定を行っていくことが必要です。
- ・ 人だけでなく生物や地球環境にもやさしい環境づくりをめざすことが必要です。

② レクリエーション系統にみる課題

- ・ 市民に身近な都市公園が不足している地域を中心に、誘致距離や人口密度などを勘案しながら、適正な規模や形態で計画的に配置することが必要です。
- ・ 豊かな自然をより身近に感じられるような公園整備、施設整備が必要です。
- ・ 公園を安全、安心に利用できるよう維持管理に努めることが必要です。
- ・ 近年の社会情勢の変化や多様化する市民のニーズに対応できる公園づくりが必要です。
- ・ レクリエーション施設の個性を生かしながら、余暇を十分に楽しめるような空間の創出が必要です。
- ・ 海洋性レクリエーションについては利用者間や漁業との調整を図り、河川環境・漁業環境を悪化させないような対策が求められています。また、プレジャーボートなどの不法係留対策が必要となっています。
- ・ 民間のレクリエーション施設との連携を図り、レクリエーション空間の充実を図ることが必要です。

③ 防災系統にみる課題

- ・ 災害に強いまちづくりをめざし、地域防災計画等の関連計画と連携し、避難場所としての公園や、延焼防止の街路樹、樹林地の適正な配置に努めることが必要です。
- ・ 公園整備や街路樹の整備にあたっては、防災に配慮した樹種の選定等が必要です。
- ・ 住宅地の延焼防止などの災害防止のため、生垣等の設置など、市民レベルの緑化活動が必要です。
- ・ 街路樹の整備は、避難経路の確保と誘導機能として重要であり、街路樹の整備を図るとともに、既存街路樹の維持管理の充実を図ることが必要です。

④ 景観系統にみる課題

- ・ 桑名市の代表的な景観である河川等による水辺の景観、樹林地による緑の景観、丘陵地の山並み（スカイライン）の景観、農地などによる田園景観、水屋の残る輪中の景観、街道のまち並みなどの歴史的な景観を保全していくことが必要です。
- ・ 個々の景観資源を有効に利用し、市内全体でネットワークを形成するとともに、地域ごとの特徴を生かした景観づくりが必要です。
- ・ 市民などによる、個性ある美しい景観づくり活動を促進することが必要です。
- ・ 緑による景観づくりは地域のブランド価値などを高め、「まち」を元気にさせる効果があることから、地域の個性に応じた魅力的な景観づくりを進めることが必要です。



六華苑庭園



木曾川



多度山全景